

すてきな ともだち



ふたりはともだち

アーノルド・ローベル 作 三木 卓 訳 文化出版局 E-10

かえるくんはともだちのがまくんのいえをたずねました。「はるがきたんだよ」と、かえるくんがよんでも、がまくんはおきてきません。そこで、かえるくんはいえのなかにはいり、がまくんをベッドからおしだし、げんかんのまえにつれていきました。でも、がまくんは5月になったらおこしてくれ、といてねてしまいます。そこで、かえるくんは、4月までのカレンダーをやぶきました。

くまのおともだち

E・H・ミナリック ぶん モーリス・センダック え まつおか きょうこ やく 福音館書店 E-12

こぐまのくまくんが木からおりと、エミリーという女の子がたっていました。エミリーはみちにまよってしまったのです。くまくんはエミリーをかわのそばのテントまでおくてあげ、ふたりはともだちになりました。

ごきげんなライオン ともだちさがしに

ルイーザ・ファティオ 文 ロジャー・デュボアザン 絵 今江 祥智&遠藤 育枝 訳

BL出版 E-14

ごきげんなライオンくんはふかいためいきをつきました。まちのひとびとは「びょうきかしら」としんぱいしました。ライオンくんは、なかよしのフランソワくんが中学校にいてしまい、ながい休みにしかあえないのでさみしかったのです。こちからたずねていけばいいことに気がついたライオンくんは、どうぶつえんをしゅっぱつします。

しんせつなともだち

方 軼羣 作 村山 知義 画 君島 久子 訳 福音館書店 E-16

たべものをさがしにでかけたこうさぎは、かぶをふたつみつけました。こうさぎはひとつだけたべて、もうひとつはともだちのろばにもって行ってあげました。でも、ろばがるすだったので、こうさぎはかぶをろばのいえにそっとおいてきました。

あたして、しあわせ！

ローセ・ラーゲルクラutz 作 菱木 晃子 訳 岩波書店 949ーラ

一年生いちねんせいになるダウンネは学校がっこうがはじまるのがうれしくてたまりませんでした。でも、知っている子こがないので、友だちともができなかったらどうしようと思おもいました。つぎの日の休み時間ひ やす じかん、ダウンネはほかにもひとりぼっちの子こがいるのに気きが付き、ゆうきをだしてはなしかけます。

ルドルフとイッパイアッテナ

齊藤 洋 作 講談社 913ーサ

魚屋さかなやに追おいかけられた黒ねくろこのルドルフは、トラックの荷台にだいにとびのり、知らない町まちにやってきました。トラックからとびおりたルドルフは大きなトラねこ、イッパイアッテナにおどされます。けれども、ルドルフからどうしてここにきたのかをきいたイッパイアッテナは、しばらくめんどろみでやるとういしました。

ピトウスの動物園

サバステア・スリバス 著 宇野 和美 訳 あすなろ書房 959ース

スペインのバルセロナしたまちの下町に、六人組ろくにんぐみのなかよしの男おとこの子こがいました。ある日、そのなかの最年少さいねんしょうのピトウスが、たいそう重い病おも びょうき気おおになってしまいました。なおすにはスウェーデンに行くいしかないのですが、ピトウスのお父さんとうとお母さんかあにはそのお金かねがありません。そこでピトウスをのぞいた五人ごにんは動物園どうぶつえんをつくってお金かねを集あつめることにします。

「こどもしんぶん」で紹介しょうかいしている本は

加古川市立中央図書館 ☎ (4 2 5 - 5 2 0 0)

加古川市立加古川図書館 ☎ (4 2 2 - 3 4 7 1)

加古川ウェルネスパーク図書館 ☎ (4 3 3 - 1 1 2 2)

加古川海洋文化センター図書室 ☎ (4 3 6 - 0 9 4 0)

にあります

